

エコ・ファーストの約束の取り組み進捗記録	記入日：2026年3月30日
	記入者：環境管理責任者
	確認期間：54期（2024年7月～2025年6月）

No.	項目	約束事項（具体的な取り組み）	進捗確認
1	環境マネジメントシステムの構築	・環境目標の設定と、具体的な行動計画の策定	店舗毎にISO環境実施計画書を作成し、目標および達成に向けた取り組みを設定。 目標に対する評価・・・○
		・達成度を定期的に評価し、要素の特定と改善を実施する	毎月1回、各店舗において、ISO環境実施計画書を用いてISO推進委員会を実施。目標達成の要因の特定に努め、振り返り・改善取り組みを議事録に記載している。 目標に対する評価・・・○
		・取り組みの進捗状況の開示	環境目標達成に向けた取り組みの進捗状況についてはHP上で開示。 目標に対する評価・・・○
2	循環型社会の構築	食品ロス削減 ・値引きシールの使用によるお客さまへの啓発	FSC認証紙を採用した緑色の「売り尽くし価格シール」を2023年2月より導入、以降継続使用中。 目標に対する評価・・・○
		食品リサイクルループの取り組み推進 ・2030年まで再生利用等実施率80%以上を維持	再生利用等実施率：87.6% ※24年4月～25年3月実績 目標に対する評価・・・○
		・2030年までに売上(百万円)当たりの食品廃棄物発生量23kg以下	売上(百万円)当たりの食品廃棄物発生量：20.83kg ※24年4月～25年3月実績 目標に対する評価・・・○
		使い捨てプラスチック削減 ・お客さまサービスで使用するプラスチック使用量を、2030年までに2019年対比で70%削減	売上(百万円)当たりの削減率：41.3% ※24年4月～25年3月実績
		再資源化 ・店頭で回収したペットボトルの水平リサイクル実施	「ボトルtoボトル」水平リサイクルを実施している。 目標に対する評価・・・○
		店舗の排水検査 ・必要に応じた配管清掃の実施 ・グリストラップ使用・清掃方法の教育	建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、排水設備の定期清掃を実施している。 目標に対する評価・・・○ 社内学習システム内で「生鮮衛生品質管理研修」を公開し、教育を実施している。 修了者：991人／5,036人 (2026年1月まで継続中) 目標に対する評価・・・○

No.	項目	約束事項（具体的な取り組み）	進捗確認
3	持続可能な社会の構築	環境学習の実施 ・店舗見学、出張講座を通じて環境学習を実施し、年間5,000人以上の子どもたちに環境教育を実施する	出張講座：13回実施、357人参加 店舗見学：87店舗、193校、7,501人参加 目標に対する評価・・・○
		自社従業員への環境教育 ・社内学習システム「ユニーカレッジ」を活用した従業員教育	社内学習システムが変更となったため、システム内では実施なし。 別途会議にて2025年6月26日にISO14001に関する従業員教育を実施。 目標に対する評価・・・○
4	脱炭素社会の構築	2050年までに店舗から排出するCO2排出量 (Scope1,2)を総量でゼロにする	PPIHグループ全体で、2013年度比で33%削減。
		「気候関連財務情報開示タスクフォース」に賛同し、枠組みに基づいたシナリオ分析と開示を行う	PPIHグループとしてシナリオ分析およびHP上での開示を行っている。 目標に対する評価・・・○
		Scope3を含む、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量の把握に努め情報の公開を行う	PPIHグループのESGデータブックで情報公開を行っている。 目標に対する評価・・・○
5	持続可能な社会の構築	温室効果ガス排出量の削減 ・環境配慮設計された商品の開発や提供を推進する	環境配慮型PB「eco!on」を販売している。 目標に対する評価・・・○
		店舗での企画・イベントを通じ、お客さまにエコライフスタイルを啓発する	エコライフスタイル啓発のため、以下の取り組みを実施した。 ・マイバック使用の推薦 ・サッカー台のポリ袋適量使用のお願いPOP掲示 ・カトラリーをプラから木製へ変更し有料化 ・キリンHD株式会社とライオン株式会社との「エコ・ファースト!でエコライフ応援キャンペーン」実施 ・ピアゴ西春店にて名古屋芸術大学、北名古屋市女性の会、NPO法人フードバンク愛知との連携により、フードドライブを開催 目標に対する評価・・・○